

松中の絆《12月行事》本気で書き続ける生活ノートは人生を変える 松茂中学校2年 2023年12月1日(木)第10号

思いが溢れる語り合いの人権学習と生活ノート

2学期になって、生活ノートがすごく充実している人が増えています。その生活ノートを読むたびに、昨年度学習した「オリピアン 豊田雅俊さんに学ぶ人権学習」がよみがえります。

「本気で書き続けた生活ノートがあったからこそ、学習の習慣がつき、自分の夢であるオリンピック出場が実現しました」と語ってくれる豊田さんの生活ノートと重なります。何より、皆さんの思いや願いが綴られている生活ノートには、いつも元気をもらっています。

この充実した生活ノートの背後には、自己をみつめ、語り、仲間とつながる人権学習があります。強い意志を持って、主体的に挙手をし、マイクを握り、自分の内面を語る姿には、心が熱くなります。そして、いつも皆さんの語りの中には、これが中学生の言葉なのかと驚く語りがあります。

学級・学年全体に広がる「共感と連帯」「信頼と尊敬」「互いへの感謝」は、一人一人の人間性を磨き続けます。この語り合いの人権学習は、発言した仲間だけでなく、発言できなかった仲間にも、そのクラスへの誇りと自信が生まれています。

日	曜	12月行事予定
1	金	
4	月	B日課 ⑤⑥第3回ゆめ・ミライ塾
5	火	
6	水	
7	木	B日課 ⑤不審者対応避難訓練 ノー部活デー
8	金	⑤⑥生徒会役員選挙・演説会
11	月	朝読 B日課 三者面談13:45～
12	火	朝読 B日課 三者面談13:45～
13	水	朝読 B日課 三者面談13:45～
14	木	朝読 B日課 ノー部活デー 三者面談13:45～
15	金	朝読 B日課 三者面談13:45～
18	月	B日課
19	火	B日課
20	水	B日課
21	木	B日課
22	金	B日課 ④生徒会引継式・終業式⑤大掃除

人としての生き方を学んだ「ゆめ・ミライ塾」

11月17日(金)、20日(月)と「ゆめ・ミライ塾」がありました。いずれも、大変有意義な時間となっています。特に青年海外協力隊員としてのアフリカ州ウガンダでのボランティア活動を語ってくれた永易亜希子さんの講演には、皆さんの様々な思いや願いが表現され、自己表現をすることができる松茂中学校のすばらしさを実感する時間となりました。

2回にわたる「ゆめ・ミライ塾」の学びは、皆さんの生活ノートに表現されています。その生活ノートは、次回の「松中の絆」で紹介させていただきます。今回は、講師の永易亜希子さんといきいきと活動した講演会の写真を紹介します。



【感動の語り合い】

みんなで語り合う人権学習はすべてを変える

2学期の人権学習として、全学級で取り組んだ「川田優也さんの生き方に学ぶ人権学習」は、語り語りを生む人権学習として、大変充実した学習へと深まっていきました。自分の思いをさらけ出した語り合いから生まれた仲間(2人)の語りを紹介します。

《語り合いの記録①》

今、MさんとSさんが言ってくれたことに対して言いたいことがあります

僕は、作文には書いていないですが、今、MさんとSさんが言ってくれたことに対して言いたいことがあります。僕は今、当たり前におばあちゃんとおじいちゃんもいて、お父さんとお母さんもいますが、その人達と接していく時に、あまり僕には、その人達がいなくなった時のことを考えてはいませんでした。もちろん、今僕のおじいちゃんは93歳で、おばあちゃんは88歳で最近認知症になりかけてきて、まともに僕と話している時もあるんですが、たまに僕のことを忘れて、違うことを言っていることもあります。

おばあちゃんは、前まで9時になったらご飯とかしっかり作っていたんですが、おばあちゃんが、認知症で寝る時間とかもわからなくなってきたので、おじいちゃんは93歳なのに、1人で、9時には自分とおばあちゃんのご飯を作って、おばあちゃんが起きてこなかったら起こしに行き、ご飯を食べさせてあげたり、寒いって言ったらスープを作ってあげたりしていました。僕は、そんなおじいちゃんを尊敬しています。僕は、いつも土曜日におじいちゃんとおばあちゃんの家に行っているんですが、おじいちゃんも体が起き上がるのも大変だし、階段を上り降りする時も、足がダメなので、手すりにつかまって必死に上がっている状態なのに、おばあちゃんのためにご飯を作っているのは、本当にすごいことだと思います。

僕は、おばあちゃんが今までおじいちゃんにご飯を作ってくれたので、おばあちゃんに対して何も言えないと思うことはありますが、おじいちゃんが大変なのはわかっているので、おじいちゃんの気持ちもよくわかります。もう、おじいちゃんは93歳なので、いつ亡くなってしまうかもわかりません。今まで、おじいちゃんは脳梗塞になったり、意識がなくなってしまうと救急車で運ばれたり、亡くなってしまうかもしれないという時は3回はありました。その中を過ごしてきて、おじいちゃんが亡くなってしまうたら、今、自分はどんな気持ちになるんだろうということが、頭に残っています。

僕は、まだ、家族が亡くなったっていうことを経験していないので、どんなに辛いかは、自分には亡くなった時にしかわからないかもしれません。今は、生活が当たり前なので。ですが、おじいちゃんとかおばあちゃんも、いつ亡くなってしまうかもわからなくて、今の自分は、おじいちゃんとかおばあちゃんとか、周りの人を大切にしていけるようにしたいです。ありがとうございました。

《語り合いの記録②》

同情の目ではなく、自分と同じように普通を生活しているという共感の目が必要なんだと思う

僕の家族は、父と母と飼犬で構成されています。そして、僕たちみたいな家族が、世間的に見ても一番普遍的で、普通だと思っていました。でも、川田さんの話や皆さんの話を聞いて、その考えは間違っているものだということがわかりました。川田さんは、これまで進行性筋ジストロフィーという重い障がいを負ってしまう病気と闘ってきました。川田さんを知らない人たちは、その障がいを聞いただけで、川田さんは普通の人ではないと思ってしてしまうでしょう。また、川田さんが車いすで過ごしている姿を見ると、もっと普通ではないと思ひ、必要以上の同情や悲しみの目を向けることになると思います。

川田さんには、川田さんの普通があり、楽しみがあり、苦しみがあり、人生があるのです。それを比較して、「これは悪い」などと言ったりする権利は誰にもありません。しかし、中には自分との違いばかりを比較して、その人を排除しようとする人もいます。相手は昆虫でもなく魚でもなく、宇宙人でもなく人間です。「障がい者」というレッテルばかりを見て、それに縛られるのではなく、まず、その人が自分たちと同じ人間ということが一番の意識を持って、それに気づいて、自分たちと同じように普通を生活していることに共感する必要があると思います。必要なのは、自分とは違うと突き放し、必要以上の悲しみを向ける同情の目ではなく、自分と同じように普通を生活しているんだという共感の目が必要なんだと思います。これで終わります。

《仲間の生活ノート》

一人一人の思いや願いを語り合った川田優也さんの生き方に学ぶ人権学習は、どのクラスも心を熱くする授業になりました。この授業記録は、皆さんの宝物になっていくと思います。また、その授業について綴ってくれた生活ノートにも感動します。日々の思いや願いを誠実に綴っている仲間へ学び、確かな学習習慣を身につけていきましょう。今回は、10月10日(火)から11月4日(土)までの生活ノートです。

10月10日(火) 身近な人たちを手本とし、負けにくい語りができるようにしたい

人権学習の授業で見た2Dの語り合いの人権学習に感動しました。2Bでは、1人が言ってから少し時間が経ってまた1人と、一人一人が手を挙げるのに時間がかかったけど、2Dでは、1人が言ったらすぐに1人と続いていたのがすごかったです。それぞれのクラスの発表を比べるのはあまりよくないけど、目標とするクラスに近づいていけるように、それぞれのクラスが頑張っていくことは大切なことだと思います。

でも、私たちのクラスも、みんながそれぞれの自分の思いを表現できています。今回の人権学習で、自分たちのクラスの人権学習を振り返ることができたし、もっともっと堂々と語れる力をつけたいと思いました。そのために、次の人権学習でも、自分の思いをしっかりとレポートに表現して、自分の言葉で語れるように頑張ります。

同じ2年生、同じ学校の仲間として、身近な人たちを手本とし、負けにくい語りができるようにしたいです。また、今日の人権学習の後半に、他の学校の人とか、松茂中学校の卒業生の語りも紹介してくれました。そこには、自分と違う語りの力を持っている人がいて、うらやましく思いました。

言葉のつなぎ方とか、内容とか、その他いろいろと語りのすごさを学ぶことができました。私も、もっと語りを上手くして、言葉のつなぎ方とか、いろんなことを上手にしたいと思いました。

私は、繰り返して取り組んできた語り合いの人権学習で、自分に自信が生まれたように思っています。この自信をより確かなものとしていくために、今日の2Dの語り合いを目標に成長していきたいです。

人権のレポートも、生活ノートも、多分前よりは上手に本気で書けていると思います。私にとって、人権学習は、教科の勉強みたいに頭をあまり使わず、自分の気持ちを素直に表現できる楽しい授業になっているので、この人権学習の頑張りを他の教科の学習にも生かしていけるようにしたいです。

生活ノートをたくさん書き始めてから、3週間から4週間になりますが、これだけ必死になって書いたことはなかったし、1冊目を書き切りたいという気持ちもあります。この生活ノートを本気で書き出してから、褒められることは多くなりました。「文章を書くのが上手い」とか「たくさん書いたな」とか、いろいろと先生方が言ってくれることがとても嬉しいです。

自分に自信を持つために、生活ノートをもっと大切にしていきたいし、これからも続けられるように頑張りたいです。今日も1ページ書けたので満足です。

(担任コメント)

書きたいことがたくさんあって、様々な思いが溢れている生活ノート、熱い思いが先生も元気にしてくれます。まさしく継続は力なりですね。本気で書き続けた生活ノートが人生を変える。今まさにそのことを実践していると思います。

10月10日(火) 県の新人戦で、いい結果を残せるよう頑張りたい

今日の部活は、Fさんが来てくれました。Fさんは、全国トップ5に入るくらいの就実中学校でバレーボールをしていただけあって、とてもスパイクが強かったです。なので、これから少し強くなるかもしれません。とても楽しみです。今月末には、県の新人戦もあるので、新しいフォーメーションも早く覚えて、少しでもいい結果を残せるように頑張りたいです。

10月11日(水) 「スダチの苗木」の人権レポートには、自分の家族への思いを綴ることができました

明日は、一昨日に続いて2度目の体育館での人権学習があります。私は今まで、人権レポートなどに自分のことは書かずに、「ひとごと」や「きれいごと」を書いて提出していました。なので、人権学習を通して学ぶことはあまりなかったです。しかし、2年生になってやった「スダチの苗木」では、自分の家族のことをレポート用紙いっぱい書きました。私は、自分の思いを文章に表すことがとても苦手なので、今書いている生活ノートもだけど、文章が不自然になりました。けれど、自分なりに頑張って考えて文章を

書きました。

文章は書けたので、あとは発表するだけです。私は、発表することは文章を書くことよりも苦手です。しかし、その文章を周りに伝えないと意味がないので、緊張するけど、自分から手を挙げて発表するようにしたいです。そして、板野中学校3年B組を超えるような語り合いをクラスのみんなでつくりあげたいです。そのためにも、みんなが発表しやすい空気もつくりたいです。

10月12日(木) 「明日やる」「やりたい」ではなく、思ったら動き出せるようになってみせます

今日の4時間目の総合の時間、語り合いの人権学習について学びました。明日は、今回の人権学習についてレポートを書く時間があるので、頑張って最後まで書けるようにしたいです。そして、この学習から言葉だけをきれいに並べるのではなく、行動を先に行けるようになりたいです。

レポートを書くということは、多分、発表もあるので、発表もできるようにしておきたいです。この語り合いの人権学習は、本当に一番緊張する授業なので、人権問題についてもっと深く考えたいし、その人の気持ちになって深く考えられる人になりたいです。

差別やいじめは、やられている人の気持ちも、やる方の気持ちもわかります。両方がわかるからこそ考えて、やっていいことと悪いことをしっかり区別できるようにしたいです。

自分以外の人と関わっていく中で、相手の気持ちを考えることは大切だし、話しかけ方も大切だなと思います。これから、自分以外の人と関わる機会が増えていくと思うし、初対面の人とかには特に気遣いが大事だなと思いました。

1年生の時から人権問題にちゃんと向き合ってきて、去年から10枚以上のレポートは書いていると思うけど、その中でも、今回書くレポートが一番成長を見せられると思うので、たくさん書けるようにしたいです。

今日の人権学習にあった川田優也さんの「全然怖くない」って思える人間が一番強いと思いました。本当にそう言えるのがすごいし、自分らしく堂々と生きている人がかっこいいなと思いました。人権のことは、生きていく中で一番大事なことだなと何度も思います。

たとえ数学や国語ができたとしても、人権問題や人との関わり方がわかっていなかったら、人が苦手になったり、話せなくなったりするので、勉強ができなくても、人権問題や自分以外の人との関わり方を知っておきたいです。そして、他の人ともっと仲良くなるために、豊かにコミュニケーションが取れるようになりたいです。そして何より、人権問題は、「他人事」だと思わず、「わがこと」だと思い、考えられるようになり、いじめや差別は、身近な問題だということを忘れずに生活できるようにしたいです。

人権発表も、緊張するけど、いじめや差別をされている人のための発表してあげたいです。自分もしっかり頑張らなアカンところがいっぱいあるし、理解も深めていきたいです。今まできれいごとを言ったり、行動しなかったり、「できるようになりたい」って言うだけで、努力したことはなかったです。よく考えてみると、「次こそは」「次こそは」って、毎回言うだけ言って、行動に表したことがありません。

なので、頑張りたいって言うより先に、思ったことややりたいこと、今やらないといけないこと、やってあげれることは、すぐに行動に移し、「明日やる」とか「やりたいです」じゃなく、思ったらすぐに動き出せるようにしていきます。

宿題とか、特に、「後で」じゃなく今できるようになります。今日も、生活ノートを1ページ以上書く目標を達成しました。明日も頑張ります。セミナーも終わらせときます。

10月13日(金) たくさん綴れるようになった生活ノートを生かして、発表できるように頑張ります

来週の月曜日、語り合いの人権学習があります。本番の時に語りやすいように原稿を考えています。原稿用紙を8枚くらい使って原稿を考えました。家族の絆についての人権学習なので苦手な部分もあるけど、今回は自分から手を挙げて発表ができるようにしたいです。せっかく生活ノートがたくさん書けるようになってるので、これを生かして今回の人権学習は、自分の思いを堂々と語れるようになりたいです。

正直、発表は苦手です。マイクを持つての発表なので、めっちゃ緊張するだろうし、途中でつまったり忘れてりすると思うけど、この緊張を乗り越えて、自分自身が大きく成長できるように頑張ります。そして、発表する時には、本当の気持ちを伝えてみます。

自分から手を挙げて発表した後は、めっちゃスッキリするし、発表してよかったと思えます。語ることによって、その1時間で滅茶苦茶成長します。今回は、レポートも頑張って書いたのだから、あとは、レポートの内容を心に刻んで、自分の気持ちを込めて語り、心の底から語ってよかったと思える発表にしてみます。

最近、インフルエンザが流行っているのだから、罹らないように、手洗いを毎日できるようにしていきたいです。今回の語り合いは、最高のコンディションで、最高の発表にしてみせます。先生、一生懸命語るのだから応援してください。

10月16日(月) 発表が終わった後に友だちが「感動した」「すごかった」と言ってくれました

4時間目に語り合いの人権学習がありました。発表する時に、めっちゃ緊張したし、途中で詰まると思ったけど、最後まで語ることができました。今回の反省は、自分から手を挙げられなかったことと、レポート用紙を見ながら発表したことです。この日のために、金曜日、土曜日、日曜日と3日間考えてレポートを書いてきました。

20枚くらい原稿用紙に思いを書いて、そこから文章を組み合わせていきました。そして、最後に「これ」と思ったことを決めて書いたのが、今日読んだレポートです。これだけ頑張ったのだから、心の底から手を挙げて自分から発表すればよかったと思えます。でも、今回の発表で、1つでも成長することがあれば嬉しいです。

森口先生が「生活ノートに感動する」と言ってくれた時は、本当に嬉しかったです。書いてきてよかったなと思います。1年生の時とかは、1行、2行しか書いていなかったけど、今は、1ページ書けるようになりました。とても嬉しいです。語り合いの人権学習は嫌いじゃないし、好きな方なので、これからも発表したいです。

今回の人権学習で1つ成長したところは、2回発表ができたことです。

「森口先生から見て、成長していましたか？」

次は自分から手を挙げられるようにしたいです。板野中学校の生徒のように、堂々と自分の思いを伝える発表ができるようになりたいです。

手を挙げる前はドキドキして悩むし、一番緊張している瞬間ですが、発表した後は、すごい自信が湧き起こってきます。自分にはもう怖いものはないという気持ちになります。語り合いの人権学習には、すごいものがあると思います。

発表が終わった後に友だちが「感動した」「すごかった」と言ってくれたことや、小泉先生が「お疲れ」って言ってくれた時は、発表して心の底からよかったと思えました。私にとって、頑張った後に褒めてくれるのが、何より自分のやる気や力になります。言ってくれたことが何よりも嬉しかった。今まで心に秘めてきた本当の思いをみんなに伝えることができ、本当に嬉しかったです。

森口先生は、本当にすごい先生だと思います。発表しようか悩んでいる時は、「発表しよう」とプラスなことを言ってくれるので、発表したくなります。本当にやる気が出るし、元気づけられるし最高です。いつもは森口先生だけだけど、今回は小泉先生もいたので、とても緊張しました。でも、最後までしっかり自分の思いを伝えることができ、本当に嬉しかったです。

～先生に対する本当の気持ち～

今の2年生の先生はみんなとてもいい先生です。おもしろい先生もいるし、優しい先生もいるし、めっちゃ話してくれる先生もおれば、話しやすい先生もいます。そんな先生たちのもとで成長できるのが楽しいし嬉しいです。クラスが最高って言っている時があるけど、先生も最高です。

森口先生は、普段の時と人権の時では目が違います。人権の時になると、本気になっているのがわかります。それだけ本気になって人権のことについてしてくれるのがとても嬉しいです。

「命ある限り人権について語っていく」と言っていたことはずっと忘れません。友だちや好きな先生がいて、楽しい学校に行けることが何よりも幸せです。また、森口先生の人権学習を受けれることも、私にとっては幸せだし嬉しいです。次の人権学習は、先生の書いた「スダチの苗木」です。すごく楽しみです。

(担任コメント)

人として、どんどん心が豊かになっている姿に感動です。全力で書いたレポート。それを全力で発表できたこと。すごく感動をかみしめています。社会のテストの頑張りも、すごく楽しみです。本気の努力が人生を豊かにしていきます。まさしく、この生活ノートがそれを証明しています。2冊目の生活ノートも楽しみです。家庭学習も充実させ、人生を変える生活ノートにしていこう。

10月16日(月) 私も、友だちのようにかっこよく素直に自分の思いを語れる人になります

今日は、語り合いの人権学習がありました。今日は、いつもよく発表する人が休んでいたのでも、とても心配しました。でも、みんな力を合わせて、素敵な語り合いの時間になったと思います。休み時間中には、「発表するのは恥ずかしいから嫌だ」と言っていたけど、みんなが発表していてすごいと思いました。とても緊張する中、私も発表できて嬉しかったです。緊張して話すことを忘れてたり、文がおかしくなっちゃったけど、森口先生が「発表することに意味がある」と言ってくれて、うれしかったです。

特に心に残った発表があって、その発表は、私の後に発表した友だちの発表です。休み時間中に、「発表したくない」と一緒に話していたのに、その友だちは、A4の用紙にとってもきれいな字で2枚分の思いを書いていました。とても感動したし、発表している姿勢がとてがかっこよかったです。私もその友だちのように、かっこよく素敵な人になりたいです。

(担任コメント)

語り合いの人権学習のよろこび、それは、「共感」と「連帯」です。あなたの頑張りがクラスメートの頑張りを引き出していきます。心のこもった素晴らしい語りは宝物です。この学習を積み上げ、人としてどんどん成長していきましょう。

10月16日(月) 今日は、勇気を出して手を挙げ発表できたことを成長したと感じている

今日の語り合いの人権学習では、今まで以上に自分の考えをしっかりと発表できて、僕は嬉しかったです。初めは、自分で手を挙げることですら戸惑っていた自分でも、今日は、勇気を出して手を挙げ、堂々と発表できたことが成長したと感じています。次の人権発表会でも、今日みたいに自分のことを堂々と発表したいです。

(担任コメント)

人として、心豊かにしっかりと語る力。感動が先生の中に広がっていきました。これは、生活の中にしっかりと生かされています。来週の実力テストも全力で頑張り。

10月18日(水) 人に動いてほしい時、発言したり行動することが大切だと思う

今日、部活をしている時、2年生の友だちが「1年生が全然練習をしてくれない」と相談してくれました。私は、そこで「じゃあ、あなたはそこで何かした？何かできた？」と尋ねました。すると、彼女は「何もしてない」と言いました。前に、何かの本で、「人を動かすことはできない。自分が動くのだ」というのを見たことがあります。でも、それでは、動く側の負担が多いと思います。

例えば、Aさんはテレビを真ん中で見ているとします。そこにBさんが来て、Aさんの前の真ん中に座ったとしたら、Aさんはテレビを見にくくなり、でも、Aさんが右や左にずれたら、真ん中で見ることはできなくなります。だから、私は人に動いてほしい時、自分が動くのではなく、人を動かすために、発言したり、行動することが大切だと思います。

テレビの例えも、AさんがBさんに対して、「見えにくいから少し下がって欲しいな」など、声をかければよいのです。もし、それが自分で言えないのなら、第三者に頼めばいい。だから、部活に行ったら、自分の考えを一度話して、1年生とも楽しく部活をしたいです。

(担任コメント)

深く物事を考え、行動すること。自分にできることを問いかけながら、日々前進している姿に元気をもらいます。よりよい人間関係をつくる力、人間として大切なものを、仲間と共につかみ続けてください。

10月20日(金) みんなの真剣に聞いてくれる眼差しに励まされ、しっかり語る事ができました

今日は、語り合いの人権学習がありました。初め、僕は川田優也さんのことだけを書いていたので、それを覚えて発表しようとしていたんですが、先に発表していたSさんやMさんの話を聞いて、すごく自分の「家族」について考えさせられました。僕には、お母さんやお父さん、祖父や祖母、兄や姉がいるんですが、その当たり前にいる家族は、とても大切にしないといけないと思いました。

Sさんは、お父さんがいないのに、お母さんは一生懸命働いて、スパイクや部活に必要なものは、文句を言いながらも買ってくれると言っていました。Sさんと比べると、母に対する感謝が足りないなと思いました。Mさんも、おじいちゃんやおばあちゃんに恩返しできたならよかったと言っていたように、当たり前家族でも、亡くなってから気づいて後悔したりするものがあるのだと感じました。

僕はそんなSさんやMさんを尊敬します。家族のことをよく考え、行動に移したいと本気で語っている姿は、たくさんのことに気づかせてくれました。後に続いて、僕も新たに思ったことがあったので、アドリブで発表したんですが、みんなが真剣に聞いてくれる眼差しにとて励まされて、発表していて気持ちがよかったです。

まだ、僕はスラスラ発表できず、話がおかしかったかもしれません。ですが、何回か発表していくうちに、絶対成長していつていると思うので、自分もこれからいいなと思った語りを越えられるくらい頑張っていきたいです。

(担任コメント)

「家族」への思いを、みんな真剣に語っていましたね。私も良い刺激をもらいました。

10月20日(金) 語り合いの人権学習、堂々と語れる人を尊敬し見習おうと思う

語り合いの人権学習がありました。みんなが、「自分のこと」と思っ取組んでいて、すごいなと思っし、感動できる時間でした。私自身は、発表はしなかったのですが、この時間で、さらにたくさんことを学びました。

自分の家族について言うのはとても緊張するし、周りの人がどう思うかも、私なら気になってためらってしまいます。でも、堂々と自分のことを言えたのはすごいことだし、自分もいつかそうなりたいなと思います。

また、本気で語ったらスッキリするというのは本当だと実感しました。私は、自分のことを作文に書きました。その時、とてもスッキリして、いい気分になったので、みんなの前で話したら、この何倍もいい気持ちになるのかなと思います。堂々とと言えるようになるために、まずは、自分はそういう人を尊敬し見習おうと思います。

10月20日(金) 些細なことでも大切にすることが、命を大切にすることだと思う

今日は、人権の授業がありました。私は、みんなが発表するのを見て聞いて、「このクラスでよかった」と思えました。普段、ふざけていて先生に怒られまくるし、合唱コンクールの練習も、真面目にやらなかったし、本当に大変なクラスだと思っていました。

でも、今日はみんなが泣きながら発表してくれたり、真剣に聞いていたり、私も気づいたら泣いてしまいました。特に、おじいちゃん、おばあちゃん、ペットが亡くなってしまったことを話してくれた時は、マスクが濡れるくらい泣いてしまいました。おじいちゃんやおばあちゃんになると、病気になったり、いつ会えなくなるかわからないと思いました。

私は、おじいちゃんとおばあちゃんが話を忘れたり、聞こえなかったりした時、少し嫌だと思ってしまったことがあります。でも、おじいちゃんとおばあちゃんにはとてもよくしてもらっています。小さい時から一緒に遊んでくれました。今も、学校から帰ってきたら「おかえり」と言ってくれて、そんなおじいちゃんやおばあちゃんがいなくなったら、本当に辛いと思います。だから、おじいちゃんやおばあちゃんと話す時間を大切にしたいです。些細なことでも、大切に過ごしたいです。

また、私はペットを飼っていたことがあります。私が飼いたいと言いました。動物だから、いつかお別れがあると知っていました。でも、死んでしまった時は、本当に辛かったです。人でも動物でも、命はあるし、ペットも家族でした。ペットの掃除をするのが嫌な時もありました。もっともっと、大切にしていればよかったと思います。精一杯やったけど、もっとおいしいおやつとか、ご飯も上げたかったです。何が好きとかわかってなかったの、いっぱい愛情を注ぎたかったです。こうならないためにも、今からペットを飼おうとしている人は、大切に大切にしていって欲しいです。私は、些細なことでも大切に過ごしていきたいです。それが、命を大事にすることだと思うからです。これから、今日の授業を思い出しながら生活したいです。

10月20日(金) 今日の語り合いの人権学習、どの発表者も自分のことを語っていて胸が熱くなった

今日は語り合いの人権学習がありました。私は、手を挙げて発表することはできなかったけど、みんなの話をちゃんと聞くことはできました。泣きながら発表する人を見て、私ももらい泣きしそうになりました。どの発表者も、他人事ではなく、自分のことを語っていて、とても胸が熱くなりました。次、語り合いがあったら、手を挙げて発表したいです。

10月20日(金) 僕もみんなの熱量に負けないような語りをしてみたいです

今日は語り合いの人権学習がありました。川田優也さんの授業で学んだことや、家族について振り返り、感じたことなどを語り合いました。自分の家庭事情や心の奥に秘めていた思いをぶちまけていて、すごいなと思いました。中には、涙を流しながら一生懸命語る人もいて、自分自身についてしっかり考えられていて感動しました。僕も、みんなの熱量に負けないような語りをしてみたいです。

10月20日(金) 語り合いの人権学習の喜びがクラス全体に広がった授業となりました

今日、語り合いの人権学習がありました。「私が1番に言うぞ」という気持ちでいたのですが、緊張して1番に言うことができませんでした。20分くらいの時間が経って、「言うの諦めようかな」と思っていた時に、Sさんが自分にはお父さんがいない」ということを言っていました。「正直、お父さんが欲しいです。」という言葉にすごく泣きそうになりました。その次にMさんが「おじいちゃんとおばあちゃんがいなくて」と語っていました。Mさんが泣きながら話していて、もらい泣きしてしまいました。私以外にもたくさんの方がもらい泣きしていて、人の語りで人の心を動かすことができるんだなと感動しました。

Mさんの後に、FさんやTさん、Yさんも発表していて感動しました。Sさんたちが発表するまでは、発表するのを諦めかけていたし、発表するとしても、紙に書いたことを言おうと思っていたけど、自分の本当の気持ちを語ろうと思った瞬間、心臓が飛び出すくらい緊張しました。森口先生がよくおっしゃっている「本当の思いを語ろうとした瞬間、全身が熱くなる」という言葉の意味がわかりました。

語っている時は、緊張して言葉がすぐに出て来なかったし、何を言ったのかあまり覚えていません。語り終わった後は、すごく気持ちが楽になりました。友だちから「いい発表だったよ」とか、「頑張ったな」と言ってもらえてすごく嬉しかったです。今日の自分の語りは、今までの中で1番いい語りだったと思います。「みんなで語り合う人権学習はすべてを変える」語り合いの人権学習の喜びがクラス全体に広がった授業となりました。

10月31日(火) 父に、行動で感謝を伝えたいと思っています

私の父は、運送会社とガソリンスタンド、土日も、市場とガソリンスタンドで働いてくれています。元々、ガソリンスタンドでは働いていなかったのに、なぜ始めたかという、私を私立の中学校に行かせるためです。今でも続けているのは、会社でも父の場所ができていたので、抜けると周りの人に迷惑がかかるからです。2時間程しか寝ない時もあります。父が早く休めるように、家事などをして、行動で感謝を伝えたいと思っています。

10月31日(火) 人間が人間を大切にしていって理想の社会をつくっていく一人になっていきたい

今日は、道徳で「スダチの苗木」というのを学習しました。この「スダチの苗木」は、森口先生の過去が基になっているお話です。私は、部落出身かどうかもわからないけれど、何事にも「わがこと」として考えています。森口先生や他の先生たちにも人権学習を学んだ今、もし、私が部落出身だとわかって、堂々としていられる気がします。生まれた場所が違うだけです。他人と比べて安心したいという気持ちで生活しても、何も楽しくはないと思います。

人生は自分が主人公なので、自分は自分、他人は他人と、そう思って生活できる人が一番格好いいと思います。私の考えはまさにそれです。けれど、そうやって人を大切にしないというわけではないです。友人や家族、そして、まだまだ顔も知らない人たち…。同じ人間で仲間だと、私はそう考えています。人間は本来、お互い助け合って生きていくことが理想です。人間が人間を大切にしていって理想の社会をつくっていく一人になっていきたいと強く思います。

10月31日(火) 「スダチの苗木」の人権劇、演じた中学生たちは人権への気持ちは強いんだと思った

今日は、森口先生の道徳の時間に「スダチの苗木」というのを観ました。中学生だから、あまり演技が良いとは言えないけれど、人権への気持ちは強いんだなと思いました。実際に、森口先生が感じたことや思ったこと、差別されてきたことが鮮明に表現されていて、本当に苦しかったらうなと思いました。また、その辛い差別も仲間によって乗り越えられるということも知りました。私も、実際に仲間によって救われたこともあったので、特に気持ちがわかりました。この学習を通して、自分自身の人権感覚をしっかりと磨いていきたいと思っています。

11月4日(土) 友だちと行った大阪旅行、勉強不足を痛感し、臨機応変に対応できる人になりたいと思った

今日は、友だちと2人で大阪に行ってきました。交通手段が、普段は使わない電車だから、不安だったし、一度道に迷いました。勇気を出して、駅員さんや街の人に聞くと、優しく教えてくれてすごく助かりました。アベノハルカス、コリアンタウン、心齋橋、空中庭園など、ハードなスケジュールで行きました。

夜、空中庭園で写真を撮っている時、英語で「写真を撮ってくれませんか」と話しかけられました。その時、私たちも違う方に写真を撮ってもらったところだったので、「少し待ってください」と言うつもりでした。2人とも英語は好きだし、得意なのに、いざとなると言葉がなかなか出ませんでした。

帰り道に、進路の話もしたけど、とにかく勉強不足だったと私は痛感しました。もっと臨機応変に対応できる人になりたいです。今回の旅行で、たくさんの言葉と関わることができました。私は、英語や語学を生かせる仕事に就きたいので、もっと頑張ります。